

他の歯や全身に悪影響も



【問い】口臭が気になり歯科を受診したところ、抜いた方がよい歯があると言われました。今までに痛みを感じていない歯でも本当に抜く必要があるのでしょうか。（長崎市、51歳女性）

いるからです。歯周病を引き起こす細菌は酸素を嫌い、血液を好みます。そのため、細菌は歯周ポケットの奥へ奥へと進んでいき、血管の中に入っていくこともあるのです。そして全身に回り、弱っている臓器に悪影響を与えると考えられています。

【答え】歯を抜いた方がよいと判断する最も多い理由は、歯周病やむし歯で問題がある歯を残しておいて、他の歯やかみ合わせなどに悪影響を与える心配があるときです。歯周病は細菌感染により歯と歯肉の隙間に歯周ポケットが形成され、歯根の周囲の骨（歯槽骨）が溶ける病気です。歯周病の恐ろしいのは、むし歯のように穴が開いたり、痛んだりなどの症状がなく進行していくことです。

最近では雑誌やテレビで、歯周病が心臓病、糖尿病、肺炎や認知症など、いろいろな病気に関連していることを耳にする機会が多くなっていると思います。歯磨きをして出血するのは血管に傷が付いているからです。

痛みなくとも抜歯必要？



回答者 鵜飼 孝
長崎大学病院
医療教育開発センター

質問をどうぞ

歯と口の健康に関する質問を受け付けます。歯科医師会の先生方が回答します（直接本人に回答はしません）。症状などを分かりやすくまとめ、住所、氏名、年齢、職業、電話番号を明記し、〒855218601、長崎市茂里町3の1、長崎新聞社生活文化部「お口の相談室」係に送ってください。歯科医師会のホームページは「8020ながさき」で検索できますので参考にしてください。